

第2回 LAKE BIWA TRIATHLON IN MORIYAMA 開催要項

【開催趣旨】

本大会は参加者と地元住民の方との協調、トライアスロンを通じた健康、道徳、教育の発展、さらに大会実施による地域活性化を目的として、国内外で知名度のある LAKE BIWA を大会拠点として開催し、国内外における琵琶湖、開催地となる守山市の魅力発信につなげます。

1 主 催 LAKE BIWA TRIATHLON IN MORIYAMA 実行委員会（主たる運営者 CEEPO. INTERNATIONAL. ltd）

2 後援 守山市、守山市教育委員会、滋賀県
国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所
守山商工会議所、守山市観光物産協会、公益社団法人びわこビジターズビューロー
守山湖岸振興会、守山漁業協同組合
公益財団法人滋賀県交通安全協会、守山野洲交通安全協会
公益財団法人守山文化体育振興事業団、守山市スポーツ協会
滋賀県自転車軽自動車商業協同組合守山野洲支部
一般社団法人滋賀県自転車競技連盟
近江守山ライオンズクラブ、守山ロータリークラブ、
淡海を守る釣り人の会 ほか

3 協賛 メルセデス・ベンツ日本株式会社、琵琶湖マリオットホテル、株式会社平和堂、
たねや・CLUB HARIE、ブライトリング・ジャパン株式会社、マヴィックジャパン株式会社、
サイクルヨーロッパジャパン株式会社、株式会社カワシマサプライ（プロファイルデザイン）、
オン・ジャパン株式会社、Wahoo Fitness

4 協力 粉飴、Power Production (Glico)、Pierre Herume Paris、野洲川下流土地改良区、
西武造園グループ、シダックス大新東サービス株式会社、
TAC・ナショナルメンテナンス共同事業、株式会社滋賀銀行、
公益財団法人ハン六文化振興財団

5 メカニック協力 SHIMANO（予定） GIANT JAPAN（予定）

6 主 管 一般社団法人滋賀県トライアスロン協会

7 開催日時 2022 年 7 月 2 日（土） 7:00～15:00 （雨天決行）

8 開催場所 琵琶湖マリオットホテル前湖畔、湖岸道路、野洲川堤防下道路、農業道路ほか

9 選手受付場所 琵琶湖マリオットホテルロビー及びボールルーム

10 受付スケジュール 2022 年 6 月 30 日（木）13:00-17:00 選手受付

2022 年 7 月 1 日（金） 9:00-16:00 選手受付

※選手受付は 7 月 1 日 16:00 までに必ず行ってください。

13:00-17:00 第二なぎさ公園バイクチェックイン会場

※バイクチェックインは必ず 7 月 1 日に行ってください。

2022 年 7 月 2 日（土） 5:00-6:00 出走確認 第二なぎさ公園バイクチェックイン会場

11 レース当日スケジュール（雨天決行）

スイム 1.9 km・バイク 70.0 km・ラン 21.0 km（予定）

※スイムコンディション（高波など）によってラン 3.6km・バイク 70.0km・ラン 21.0kmに変更、もしくは距離短縮の可能性があります。

【前日特別イベント】

6月30日（木）

13:00 -17:00 選手受付&エキスポオープン（マリオットホテルボールルーム）

7月1日（金）

9:00-16:00 選手受付&エキスポオープン（マリオットホテルボールルーム）

13:00-17:00 バイクチェックイン（第二なぎさ公園）

7月2日（土）

5:30-6:20 バイクトランジションオープン

6:10-6:40 入水チェック、スイムウォームアップ

6:45 **開会式** スイムスタート会場

7:00 スイムスタート（5秒間隔で5人毎がローリングスタート）

※8:10 スイムカット時間

※12:00 バイクカット時間（以降はコースの撤収作業に移り、概ね 12:00 に交通規制等解除予定）

※15:00 ランカット時間（以降はコースの撤収作業に移り、概ね 15:30 に規制解除予定）

12 参加料 個人 35,000 円/1 名 リレー45,000 円/1 チーム

- ・参加料には保険料が含まれます。（補償内容：死亡・後遺障害 10,000 千円、入院日額 5,000 円、通院日額 3,000 円）この金額に不足と思われる方は各個人で傷害保険、損害賠償保険にお入りください。
- ・**新型コロナウイルス感染症の影響により大会中止となった場合、諸費用を引いてエントリー代金の一部を返金させていただきます。**
- ・**延期となった場合は返金か参加かを改めてご選択いただきます。**
- ・大会開催の約三週間前に参加要項を送らせていただきます。

13 参加人数 個人 550 名 リレー20 チーム

14 エイジカテゴリー ※2022 年 12 月 31 日時点の年齢をエイジグループの基準とします

M18-24, M25-29, M30-34, M35-39, M40-44, M45-49, M50-54, M55-59, M60-64, M65-69, M70-74, M75-79, M80-84, M85-89, F18-24, F25-29, F30-34, F35-39, F40-44, F45-49, F50-54, F55-59, F60-64, F65-69, F70-74, F75-79, F80-84, F85-89

15 参加エントリーはインターネットエントリーとします。

エントリー期間 **2022 年 1 月 31 日正午～2021 年 2 月 20 日**

※参加選手は 2004 年 4 月 1 日以前に生まれた方とします。

※参加選手は 1,500m を 45 分以内で泳げることが条件となります。（自己申告）

※2022 年 JTU 会員登録のない方もエントリー可能ですが、登録のない方はレースエントリー料に個人エントリー、リレーエントリー共に 1,000 円が必要となります。

個人 35,000 円 → 36,000 円 リレー 45,000 円 → 46,000 円

※参加費の払込を持ってエントリー受付とします。

※定員になり次第エントリーを打ち切ります。

16 競技ルール

（公社）日本トライアスロン連合（JTU）競技規則ならびに大会ローカルルールを適応する。

※バイクはノンドラフティングレースとなります。

17 宿泊について 大会オフィシャルホテル琵琶湖マリオットホテルです。

- ・ホテル予約は琵琶湖マリオットホテルのレース参加選手用リンクからご予約下さい。
- ・レース当日チェックアウトの方は宴会場に荷物を預ける事ができます。
- ・宿泊者の方はレース終了後ホテル内の温泉施設の利用が可能です。

18 COVID-19 感染予防対策について

- ・参加者各位においても感染予防対策を講じての参加をお願いします。
- ・参加にあたっては、ワクチン接種 2 回以上の証明や 6 月 29 日から 7 月 2 日の間での PCR 検査陰性証明（費用は各選手が負担）などを提出していただくことがあります。
- ・無観客開催や家族等との同伴ゴール禁止などの可能性もあります。
- ・これらについては感染状況などを注視しながら 5 月末頃に最終決定を予定しています。

19 その他（参加者および選手として守ること）

- ・主催者は自転車の検査を行いませんので各自安全確認をお願いします。
- ・自転車メカニックサービス：レース前日 12:00-17:00 レース当日 5:10-6:30（トランディションエリア）7:30-11:00（周回ポイント地点）
- ・自転車に乗る場合はヘルメット着用を義務とします・
- ・負傷した場合、応急処置をおこない以降は自己負担となります。各自健康保険証の持参をお願い致します。
- ・大会中に怪我をして大会本部への届出が無い場合、保険対象外となる場合がありますので大会で怪我をされた場合は必ず届出をお願いします。
- ・自転車コースには直角カーブ等危険な所が数か所ありますのでカーブ進入前には十分な減速をお願いします。
- ・自転車コースに追い越し禁止区間があります。追い越し禁止区間での追い越しは絶対しないようお願い致します。
- ・自転車、ラン共にキープレフトを基本とします。
- ・レース開催時以外は道路に使用規制はありませんので、コース試走については交通ルールを厳守し、地元の方を優先する配慮ある走行をして下さい。
- ・お車でお越しの方は決められた場所への駐車をお願いします。
- ・大会は地域の皆様のご協力により開催可能となります。今後の大会が継続できるよう地域の皆様に迷惑となる行為は行わないようにしてください。
- ・大会期間中ごみは各自の責任でお持ち帰り下さい。

問合せ先：LAKE BIWA TRIATHLON IN MORIYAMA 事務局（MSPO エントリー内）

Email：entry@mspo.jp TEL：042-370-7431(平日 13 時～17 時)

契約書（エントリーされた方はこの契約書に同意されたものと見なします）

私は標記大会に参加するに当たり、自分自身の健康管理に細心の注意を払い、競技規則を順守し、疾病に際しては主催者に対しその責任は問わず、自己の責任において処理することを誓います。

未成年者が参加の場合、保護者が上記誓約書記載事項内容に同意の上で参加させることを誓います。

個人情報及び肖像権の管理について

本大会で主催者が取得した個人情報（氏名、生年月日、競技成績、競技歴、写真など）は、本大会の運営（ポスター、プログラム、など）にのみ使用します。また新聞、メディアに掲載される場合があります。